

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	アイエンジニアリング(株)下九沢工場	階数	地上 2F
建設地	相模原市緑区下九沢字上中/原1662番1	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	30 人
気候区分		年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年5月 予定	評価の実施日	2014年9月10日
敷地面積	8,198.68 (仮想敷地) m ²	作成者	(株)佐藤清建築設計事務所
建築面積	3,948 m ²	確認日	2014年9月12日
延床面積	4,273 m ²	確認者	(株)佐藤清建築設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
建物の長寿命化と省エネルギー対策、地球温暖化防止に配慮している。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
	耐久性、補修性に優れた材料を使用するよう努めている。	仮想敷地周囲に緑地を効果的に配置し、植栽に親しむことができるように配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明の採用で設備システムの高効率化を図っている。	節水器具を採用し、水資源保護に配慮している。分別が容易なシステムの採用により、資源の大量消費を防ぐようにしている。	燃焼機器を使用せず、大気汚染防止に努めている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される